

長期安定的な発電事業の実施に向けた事業計画について

資源エネルギー庁策定の廃棄等費用積立ガイドライン（2024年4月改定）に基づき、長期安定的な発電事業の実施に向けた事業計画について公表いたします。

1. 発電事業を調達期間又は交付期間の終了後も継続するために必要な措置について

(1) 調達期間又は交付期間終了後の売電方法等に関する検討状況

2050年ネット・ゼロの実現に向けて、国は2025年2月、2035年度、2040年度に、温室効果ガスを2013年度からそれぞれ60%、73%削減する目標を表明しました。実現に向けた施策のひとつとして、既存再エネの長期電源化に向け、調達期間終了後も中長期的に持続的な事業運営を実施することが求められていると理解しております。

テラスエナジー苫東安平ソーラーパークは、2035年に調達期間が終了することとなりますが、引き続き2050年ネット・ゼロ実現に貢献できるよう、発電を継続する方向で検討しています。

具体的には、小売電気事業者に電力供給を前提とするほか、自営線による再エネ電力の供給を通じて地産地消など再生可能エネルギー電気の調達を求める需要家に電力を供給することを基本的な考え方に据えつつ、必要に応じて卸電力取引所への市場売却も検討しています。

(2) 調達期間又は交付期間終了後の発電所の用地確保等に関する取組状況

テラスエナジー苫東安平ソーラーパークが2035年12月1日以降も発電が継続できるよう、今後、地権者と協議を進めて参ります。

具体的には、弊社、または地権者その他の第三者が、(1)に掲げる方法で引き続き事業を継続することを前提に、地権者が当該用地を発電所用地として確保し続ける合意が得られるよう、協議する方針です。

2. 発電事業の継続に向けた地域との共生に向けた取組について

(1) 事業の理解促進等を目的とした取組

弊社では、環境啓発・観光資源として、発電所を一望できる物見台を設置してお

ります。

また、地域共生の一環として 2018 年の北海道胆振東部地震を契機に安平町と「災害に係る協力体制に関する協定書」を締結致しました。安平町内で災害による停電が発生した場合において、テラスエナジー苫東安平ソーラーパーク内に設置した自立発電機により蓄電されたカートリッジを、安平町内にある遠浅公民館に設置している子機に取り付け、停電時にも町の皆様へ電源を提供できる仕組みを確立しております。

他にも安平町で毎年開催される「あびら夏！うまかまつり」では環境啓発・地域共生の一環として弊社のブースを出展しており、子どもたちをはじめ地域住民が楽しめる発電体験の実施やスポーツ教室の開催を実施しております。

(2) 事業実施地域等における環境教育等の活動への協力

これまで弊社では、体験型の環境教育プログラム「未来×エネルギープロジェクト」を実施してまいりました。これは未来を担う子どもたちが、主体的かつ創造的にエネルギーを考えるための環境学習プログラムであり、定期的に地元の小学校にて開催しております。

ほか、弊社に出資する株式会社ユーラスエナジーホールディングスを通じて、地域貢献活動に積極的に取り組んでおり、今後もこうした活動を継続する方針です。株式会社ユーラスエナジーホールディングスにおける地域貢献への詳細な取り組み内容については、下記ホームページをご参照ください。

地域貢献への取り組み

<https://www.eurus-energy.com/csr/>

■廃棄等費用積立計画（テラスエナジー苫東安平ソーラーパーク）

運転開始日 2015/12/1

積立計画（累計） 2025年12月31日時点 134,300,000円

積立実績（累計） 2025年12月31日時点 134,300,000円

PCS容量 79,000 kW
廃棄費用等費用想定額 17,000 円/kW
年間積立額 1,700 円/kW

積立計画	日付	累積積立額（単位:円）
積立1年目	2025/12/31	134,300,000
積立2年目	2026/12/31	268,600,000
積立3年目	2027/12/31	402,900,000
積立4年目	2028/12/31	537,200,000
積立5年目	2029/12/31	671,500,000
積立6年目	2030/12/31	805,800,000
積立7年目	2031/12/31	940,100,000
積立8年目	2032/12/31	1,074,400,000
積立9年目	2033/12/31	1,208,700,000
積立10年目	2034/12/31	1,343,000,000